

船舶事故調査報告書

平成24年8月9日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 横山 鐵 男（部会長）
 委員 庄 司 邦 昭
 委員 根 本 美 奈

事故種類	乗組員負傷
発生日時	不明（平成23年10月28日 19時00分ごろ～29日 05時30分ごろの間）
発生場所	青森県八戸市大久喜漁港東方沖 八戸市所在の大久喜港北防波堤灯台から真方位078° 4.1海里付近 （概位 北緯40° 30.9′ 東経141° 42.9′）
事故調査の経過	平成23年11月1日、本事故の調査を担当する主管調査官（仙台事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が記憶障害のため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 栄福丸、7.30トン なし、個人所有 12.50m (Lr) × 2.90m × 0.89m、FRP ディーゼル機関、漁船法馬力数90、昭和52年11月12日
乗組員等に関する情報	船長 男性 76歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和50年6月12日 免許証交付日 平成21年4月20日 （平成26年12月27日まで有効）
死傷者等	重傷 1人（船長）
損傷	なし
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、平成23年10月27日10時00分ごろ、岩手県山田町織笠漁港へ回航のため、青森県大間町大間港を出港した。 船長は、28日09時00分ごろには帰港する旨を船長の家族（以下「家族」という。）に携帯電話で伝えたが、その後、家族が電話したところ、船長の様子がいつもと違うので不安になり、13時00分ごろ海上保安庁へ通報して救助を要請し、巡視船艇等により捜索が行われた。 家族は、19時00分ごろ船長に電話したところ応答があったものの、22時00分ごろ電話したときには圏外となった。 操業中の漁船Aは、大久喜漁港東方沖において、29日03時00分ごろ、ふだん僚船が操業しない場所に船舶のレーダー映像を見付け、その後も同じ場所に映っていたため、夜が明けてから確認することとした。 漁船Aは、05時30分ごろレーダーに映っていた大久喜漁港東方沖の船舶に近づいたところ、機関が停止して錨泊している本船を発見し、救命胴衣を着用した船長が、左舷側船首から約1mの海面に船首からの錨綱が

	<p>絡んだ状態により、仰向けで浮いているところを発見した。</p> <p>船長は、心肺停止状態で漁船Aに引き揚げられて、漁船Aが大久喜漁港へ帰港する間、漁船Aの乗組員により心臓マッサージが施された。</p> <p>船長は、07時00分ごろ救急車で病院に搬送されたが、意識不明の状態であり、低体温症と診断された。</p> <p>本船は、巡視艇により八戸市八戸港にえい航された。</p>								
気象・海象	<p>気象（八戸特別地域気象観測所）：</p> <p>10月28日</p> <p>19：00 天気 曇り、風向 南西、風速 4.7m/s</p> <p>21：00 天気 曇り、風向 西南西、風速 4.3m/s</p> <p>23：00 天気 曇り、風向 南西、風速 2.7m/s</p> <p>10月29日</p> <p>01：00 天気 晴れ、風向 西南西、風速 3.0m/s</p> <p>03：00 天気 晴れ、風向 南西、風速 4.9m/s</p> <p>05：00 天気 晴れ、風向 南西、風速 3.3m/s</p> <p>海象：海上 平穏、海水温度 約17℃</p>								
その他の事項	<p>本船は、平成23年10月24日付けで売却のために漁船登録が抹消され、11月14日付けで登録された。</p> <p>本船は、船首で係止された錨綱の余りが、海面に浮いている船長の胸部に1回巻かれ、その端が海中に入っていた。</p> <p>本船は、正船首水面付近が破損していた。</p> <p>船長は、本事故後、意識が戻ったが、記憶障害と診断された。</p> <p>船長は、ふだん、落水防止のため、ロープを体に着けて作業していた。</p> <p>船長は、漁業の経験が約50年であり、健康状態は良好であった。</p> <p>船長は、本事故時、携帯電話を携行していたが、水没していた。</p>								
分析	<table border="1"> <tr> <td>乗組員等の関与</td> <td>不明</td> </tr> <tr> <td>船体・機関等の関与</td> <td>不明</td> </tr> <tr> <td>気象・海象の関与</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>判明した事項の解析</td> <td> <p>本船は、28日19時00分ごろ船長が家族からの電話に应答したのち、22時00分ごろ船長の携帯電話が圏外となり、29日05時30分ごろ、大久喜漁港東方沖において錨泊し、船長が左舷側船首付近の海面に船首からの錨綱が絡んだ状態で発見されたことから、28日19時00分ごろ～29日05時30分の間において、錨泊中に船長が落水したものと考えられるが、落水した状況を明らかにすることはできなかった。</p> </td> </tr> </table>	乗組員等の関与	不明	船体・機関等の関与	不明	気象・海象の関与	なし	判明した事項の解析	<p>本船は、28日19時00分ごろ船長が家族からの電話に应答したのち、22時00分ごろ船長の携帯電話が圏外となり、29日05時30分ごろ、大久喜漁港東方沖において錨泊し、船長が左舷側船首付近の海面に船首からの錨綱が絡んだ状態で発見されたことから、28日19時00分ごろ～29日05時30分の間において、錨泊中に船長が落水したものと考えられるが、落水した状況を明らかにすることはできなかった。</p>
乗組員等の関与	不明								
船体・機関等の関与	不明								
気象・海象の関与	なし								
判明した事項の解析	<p>本船は、28日19時00分ごろ船長が家族からの電話に应答したのち、22時00分ごろ船長の携帯電話が圏外となり、29日05時30分ごろ、大久喜漁港東方沖において錨泊し、船長が左舷側船首付近の海面に船首からの錨綱が絡んだ状態で発見されたことから、28日19時00分ごろ～29日05時30分の間において、錨泊中に船長が落水したものと考えられるが、落水した状況を明らかにすることはできなかった。</p>								
原因	<p>本事故は、本船が、大久喜漁港東方沖において錨泊中、船長が落水したことにより発生したものと考えられる。</p>								